みちのく民俗村　古民家ガイド

1 旧今野家住宅

【旧所在地】奥州市江刺区梁川舘下

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代末期～明治時代初期

宿場町にはよく見られる商家です。今野家があった野手崎は、藩境の城下町で山間部からの物資の中継地でもあり、明治以降は梁川の中心としてにぎわいました。

2 旧菅野家住宅

【旧所在地】北上市口内町長洞

【指定】国指定重要文化財

【建築年代】母屋：享保 13 年（1728）

門：享保5年（1720）

北上市口内町に残されていた旧伊達領大肝入の通称・中村屋敷。門は大肝入役に許された薬医門で、享保5年4月建築の棟札が発見されています。ここでは冬を除いて機織りが実演されています。

3 旧大泉家住宅・旧渡辺家門

【旧所在地】北上市口内町荒町

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代中期

大泉家は、口内を領治した浮牛城の城主中島氏に仕えた城代家老の家柄でした。武家特有の式台があり、座敷はもちろん台所も、農家とは異なる造りが多く見られます。渡辺家も仙台御留守居役や小姓頭を務めた家柄でした。

4　旧菅原家住宅（豪雪農家）

【旧所在地】和賀郡西和賀町大沓

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】明治 40 年代前半

菅原家は秋田県境に近い豪雪地帯の民家です。この地方は積雪が3mにも達するため、軒が高く、雪の重みに耐えられるようがっしりと造られているのが特徴です。また、沢水を家の中まで引き込むなど、工夫した暮らしが営まれていました。

5　旧菅原家住宅（県南民家）

【旧所在地】一関市川崎町薄衣

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代中期

菅原家は江戸時代、伊達藩の上層農家でした。屋敷内には「金烏神社」をまつり、子どものおねしょや下の病に悩む人々の強い信仰をあつめ、たくさんの参拝者で賑わいました。馬屋門（馬屋中門）は母屋に遅れて建てられたものですが、江戸時代の長屋門として数少ない建造物です。

6　旧佐々木家住宅

【旧所在地】一関市大東町渋民

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代中期

小規模な民家ですが、江戸時代における伊達藩の葉たばこ栽培農家でした。家の造りは生活より葉たばこ作業を優先し、乾燥のために外からの風通しを良くしたり、間仕切りの少ないのが特徴です。東磐井地方の葉たばこは「東山たばこ」として有名でした。

7 旧小野寺家住宅

【旧所在地】八幡平市荒木田

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】明治 34 年(1901)

小野寺家の構造(間取り)の特色は、広い常居・土間・馬屋と続き、家の形が岩手県南の民家と異なり細長いことです。常居と台所に大きないろりがあり、主人の座るところがヨコザ、その横が主婦のカカザ、その向かいがキャクザと、座る位置は厳格でした。

8 旧北川家住宅

【旧所在地】遠野市土淵町

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代中期

北川家は、『遠野物語』に「土淵村の助役北川清と云ふ人は字火石に在」とあって、オシラサマを祭る家として紹介された遠野南部曲り家です。『遠野物語』は佐々木喜善の話が元になっていますが、北川家はその祖母の生家としても有名です。

9 旧星川家住宅

【旧所在地】紫波郡矢巾町北伝法寺

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代末期

旧南部領の代表的な民家形式「曲り屋」は、母屋に馬屋がカギ形に付いたものです。星川家は、南部領のほぼ中央にあった小規模農家で、母屋を建てた数年後に馬屋を増築しています。このことは珍しいことではなく、経済状態などにあわせた家づくりと考えられます。

10　旧伊達領寺坂御番所

【旧所在地】北上市稲瀬町内門岡

【指定】北上市指定文化財

【建築年代】江戸時代前期

旧伊達藩領の北上市稲瀬町に残されていた、領境の道路にあった境番所。領境を越えて往来する人馬や物資を検閲する役人の詰所でした。移築されている「間の沢」は、領境地帯で国指定史跡の領境塚が現存しており、江戸時代の藩政史を知ることのできる格好の場となっております。